

odai

magazine



#19

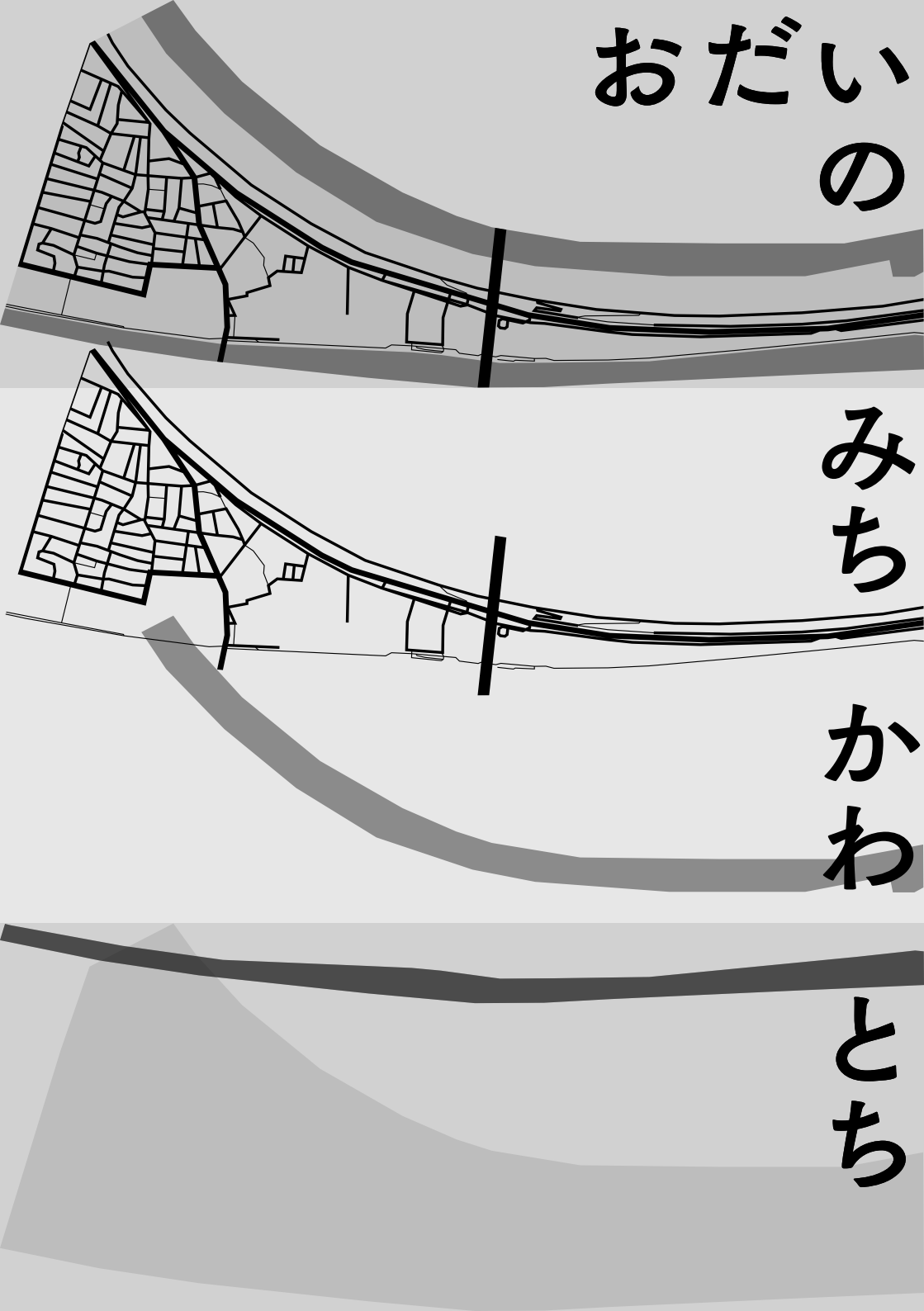
新生活の手引き

おだいの
の

みち

かわ

とち



おだいにまつわるエトセトラ

小台という土地の断片的なイメージから
小台をイメージするためのコーナーです

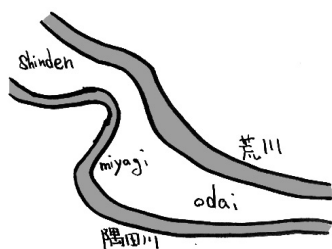
おだいのみちかわとち（右ページ）

天宅 正

連鎖し流動する出会いの中で定着しつつある場所。
川がふつと脱力したかのようにゆるく柔らかい。

縁も所縁も知人も無かったこの地も少しずつ顔馴染みになり、見慣れるという事が少し嬉しくなる。
時が経ってもこの地の思い出は多分、あの橋とあの店とあのコーヒー。

是永 総一郎



北の島の山奥から、東京へ来たら友だちのいる王子へ。コーヒーが飲みたくなったら小台へ。最初こだいと思ってたからおだい。気になるお店の多い商店街、広い川と適度な長さの橋、ブリュッケがある町。東京の北は、人と町と風景との距離感が良い。

澤村 明亨

川と川にはさまれた小台のような地形を「川中島」とよぶそうですね。

玉坂 めぐる

なんとなく普通に口にしてはいるものの、あらためて字面を見つめてみるとなんだか不思議な感じがするというのはよくある。小台。小さな台地という意味だそう。調べてはみたものの、そのまゝ。川と川に挟まれたこの町は、数年前によくバイトの配達で通っていた時から殆ど変わっていないように思う。ひっそりとして、変わらないところが好きだ。そんな小台が二つの大きな川の氾濫によって、ぽつんと孤立するところをいつも想像する。そうなったら小台はいつまでも変わらないいまだ。昔みたいに船でコーヒーを飲みに行きたい。

清水 玄

この冊子はいろいろな人にいろいろなことを書き寄せて貰った文章などからできています。
どなたでも寄稿できます。
いろいろなことは生活そのものです。
身近なことでもそうでないことも頭の隅に居座って、いつの日か何かしらの手引となるかもしれません。



Always fresh life hack !!!



イラスト・文
DJ 半額

ドトールのカツ丼、食べたことはありませんか。
私は食べたことがあります。
食べたことのない方にレシピを紹介しましょう。

- ・炊いた白米を一〜二膳
- ・玉ねぎ 半分
- ・とんかつ 一枚
- ・たまご一個
- ・だし汁 適宜
- ・しょうゆ 適宜
- ・みりん 適宜
- ・ドトールでもらってしまったけど使わなかったスティックシュガー

作りかたは割愛しますが、味の決め手となるのは、やはり、砂糖です。家で揚げるのが大変だったら、とんかつは買ってきたやつでもいいです。だしをとるのがめんどくさかったら、粉末の昆布茶でもいいでしょう。みりんが無ければ、無くても問題ないでしょう。でも、ドトールのカツ丼が食べたいのであれば、砂糖はドトールの砂糖を使う。ここは外せません。ドトールでもらった砂糖を使うことで、カツ丼を食べながら「あゝ、今、ドトールのカツ丼食べてるな」と思いこむことができるのです。認識は、時として現実を凌駕する。これを応用すると、ドトールとタリーズのハイブリッドカツ丼をつくることもできます。さらに。ドトール、タリーズ、サンマルクカフェの三店舗連合カツ丼なんてのも可能に。そして、よくよく考えてみればスティックシュガーさえ手に入ればよいわけです。砂糖を使うめんつゆ、酢飯等に応用すれば幅が広がります。ヴェローチェのもり蕎麦、マクドナルドの寿司もできますね。

さて、(この文章自体が既に余談みたいなものですが)余談いいでしょうか。昔、30円の駄菓子、ビッグカツでカツ丼をつくったことがあります。ふつうにカツ丼をつくる感覚で調味していったら、ビッグカツ自体に既に味がついているので、ものすごく濃い味になりました。

季節と紙の雑記帳

おかむらあいこ

はじめまして、おかむらあいこと申します。オ
ダマガに書かせていただくのは2回目です。前
職は紙屋さん、今は活版印刷の工房でお手伝い
をしながら、紙や加工や印刷の相談にのる紙加
工プランナーをしています。紙ヨロという紙に
まつわるものとメディアもやっているので、
気になる！という方はぜひネットとかで検索し
てみてもらえるとうれしいです。

自己紹介が長くなりましたが、季節にまつわる
紙のことを、と杉浦さんにリクエストいただい
たので書いてみることにしました。今この文章
を書いているのが3月半ばなので、今回は春に
まつわる身近な紙について。3月といえば、卒
業シーズン。まさきに思い浮かんだのが卒業
証書だったので、卒業証書に使われている紙に
ついてご紹介することにします。

わたしが通っていた学校は小中高とクリーム色
の紙に、金色のインクで桜や鳳凰が印刷された
ものでした。大学だけ、校章の透かし模様が入っ
た和紙だった気がします。一般的によく目にす

る前者について紙屋の目線から紹介すると、多
くはケント紙が使われているようです。表面が
少しつやつとしていて(紙屋的には「平滑性が高
い」と表現したりします)、ふつうの紙に比べ硬
めでハリのあるケント紙。もう少しマニアック
に追及してみると、富士フィルムが作っている
『PHO(ピーエイチオー)』という紙が多く使われ
ています。

そもそも富士フィルムが紙作ってるんだーと驚
かれる方も多いのでは(富士フィルムは写真の
延長線にあるいろいろな紙も作っているんです
よ(印刷紙だったりインクジェット専用紙だつた
り)。宅急便の伝票や領収書で目にする「複写用
紙」も作っていて、この技術を活用した化粧水
なんかも作っているのがおもしろいところ(マイ
クロカブセルが入っているアレです)。

話がそれました。『PHO』という紙もそうした
技術を活用して作られており、平滑性が高くス
ムースで印刷適正が高く、ハリのある紙質で、
ゴミなどのチリが入っていないのが大きな特
徴です。せっかくの賞状、しっかりときれいな
紙にきれいな印刷で作りたいですよ。名前も
「Photograph」からきているそう。加えて、卒
業証書に選ばれる最たる所以とも言えるのが「湿
度や温度に強い」という特徴です。なぜか？そ
れは紙の特性と、印刷方法に深く関係していま
す。

まず、紙は実は季節や天気による温湿度の変化
に弱く、湿気が多いと伸びてしわになったり、
乾燥するとカールしたり、静電気が起きたり:
と、印刷の現場で大変困ったことになります。
こうした変化に強いということは、印刷の現場
で扱いやすいだけでなく、実際に賞状を手渡さ
れた後も長くきれいな状態で保存ができる、と
いうこと。額に長い間飾っても、賞状の筒に保
存しておいても(筒もナイス紙ものですよ)いい
ですよ。

大きな理由がもうひとつ。現在多くの学校や印
刷会社では、賞状の印刷をオンデマンド印刷で
行うということです。

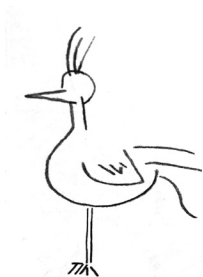
オンデマンド印刷、というのは、インクジェッ
トやレーザープリントのことを指すのですが、
わたしが今まで見聞きした中では、手書きを省
き印刷で賞状を作る場合、先に桜や共通の文章
をオフセット印刷し、その後名前などひとりひと
り異なる部分をレーザープリンタで印刷するこ
とが多いようです。実はこれが難点。レーザー
プリンタは機械の中で静電気を起こし、熱と圧
でトナーを紙に接着し印刷するので、紙にかな
りの負担がかかるのです。印刷したらくるくる
カールしてしまつた:なんて覚えがある方も多
いのでは?これは印刷時の熱によって紙の中の
水分が急激に出ていってしまったためにおこる
のです。その点、温湿度の変化に強い『PHO』は、

こうした印刷時の負担にも負けずカールやしわもなく安定してきれいに印刷ができる、という訳です。

この『PHO』、証書や賞状だけでなく、写真集や名刺、招待状など、フォーマルな雰囲気であつたという紙を使いたいな、という時にもおすすすめ。販売は平和紙業という会社さんが行っています。直接問い合わせしてみてもいいし、少しでもいいなら検索してみるとネット通販でも買えます。ネットプリントでも使えるサイトもあるようです。（もちろんわたしに相談も大歓迎）印刷のあがりもいいので、繊細な写真印刷にも◎。賞状ならサイズにもよりますが135kg~180kgくらいの厚さ（紙はこうやって重さで厚みを表します）、名刺やカードならもう少し薄めの90kg~135kgくらいでもいいかなと思います。色も『PHO』は薄いクリーム色ですが、真っ白な『WPHO』（whiteのW）や、濃クリームの『色PHO』。さらには布のようなエンボス模様を施した『PHO エンボス』なる銘柄も。同じ紙でもこうしていろんなバリエーションがあるのも紙のおもしろポイントです。

賞状用紙、というテーマで今回は書いてみましたが、もし次回があるとしたら、その季節に関連する紙についてまた書いてみたいな、と思います。その時は、またこんな感じのひっそりと

したつぶやきのような、マニアックな豆知識雑記にお付き合いただけるとうれしです。では！



甥っ子とわたし

杉浦俊介

わたしがコーヒー屋を始めるよりも少しはやく生まれた彼も、はやいものでこの5月で5歳になる。そして今度は私がお兄ちゃんになるよりも、私の子どもが生まれる（特に予定はない）よりも先にお兄ちゃんになる。彼は常にわたしの先を行っている。

そんな彼とも近ごろは会う機会が減ってきている気がする。話す言葉も増えて前よりコミュニケーションが取れるようになった気がする。強くなったのか、前より泣かなくなつたと気がする。色んな、気がする。久しぶりに会った時に照れくさそうだけど寄つて来てくれるのは嬉しい。

こないだ親のLINEを通じて、「おじちゃんねえあのさあねえどうしてねえお仕事があんなんでなのどうしてどうしてなの」と、音声入力で入力されたのかよくわからないテキストが送られてきた。まったく舐められたものだ。

そろそろキャッチボールがしたい。

日々是精進

誰も気にならないだろう私的な休日を綴る項を設けてみました。題は、その昔どこかであった本上まなみさんの連載より拝借しました。

初回は3月24日に筑波で行われたサイクルハンティングに参加したことについて。

百近くあるポイントの写真を撮りながら歩くフォトログイニングというのの自転車版に三人で参加して、早朝レンタカーで会場を目指した。この三名のうち二名が寝坊組で我々は開会時刻に間に合わず、何故か事故渋滞組としてルール説明を受け30分遅れてのスタート。

しかし、自転車道を漕ぎ出す前にまずは地図とポイントを照らし併せて作戦会議だ。遅れを取り戻すに必要なのは効率。つまり、頭脳である。エリアごとで獲得できる合計の得点を求め、ポイントの難度で得点が違うというのがこのゲームの肝だろう。ひとまず全合計点の8割の890点を目標とした。この数字は一般的にそれだけこなせば優秀な部類に属するという経験則からはじき出した数字だ。得点の取捨選択をし、効率的にポイントを回れるルートをはじき出した。ご飯を食べたり、移動しているオレンジTシャツのスタッフに会うと加算されるボーナス点も獲れると、下手したら優勝も狙えるような期待とともにスタートを切った。

最初のチェックポイントに到着。遅刻のせいでルール説明をちゃんと聞けてなかったため、撮影のアングルがどうか、自転車をと参加者、番号のシールも入れないといけないのか、などよくわからずに手こずってしまった。この感じで出鼻をくじかれたように思ったが、この時点で各々ルート係、カウント係、撮影係（私）といった風に役割分担が出来た。遅刻のせいかな（勿論遅刻のせいだと思うが）他の参加者の姿はなかなか見ることができない。そうこうしていると徐々に町に入っていく。都内で同じようなことをするのは難しいと思うが、こういう田舎道を走るのは気持ちいいものである。



ここで断っておくと、私は特に自転車に興味というわけではない。そもそも趣味と言えるほどのことはあまりなく、夏になると盆踊りに行くくらいで、それもその場で輪に混ざって踊るのが好きみたいなことで。と話が反れてしまっ

たが、人の趣味についていくとか、やったことないことをするのが好きなので参加していた。何かしてみれば、大の大人たちもこんなテンションになるくらい楽しいものである。



幾つかチェックポイントを回るうちに、段々とそれぞれの役割の作業効率があがってくる。これが世にいう職能というものかもしれないが、我々は計画通りに優勝争いに参加しているだろうことを確信し始めていた。

スタートから一番遠いチェックポイントを通過した後に、購入系の得点を取りにいった。この手のイベントは地域活性という大義名分もあるため、参加者がいくらでもその土地に金銭を落とすというのも大事なことだ。とは言え、自転車で競技参加中なのであまり大きなものは買えない。ということでお昼を食べる店だったりちよっとしたお菓子なんか売っている店が指定されている。その中で我々はまず30点獲得

が出来るできるお菓子屋を目指した。

沼田屋だ。ここは「かりんとう饅頭」という、



その名の通りかりんとうと饅頭の両方のいいところをとったような美味しいお菓子が百円程度で購入できる。それしか買わなかったで、その他のお菓子を紹介できないのは心

苦しいが、筑波山口の駅のすぐ近くなので、登山の際なんかでも近くを通ったら立ち寄って見て欲しい。前にいた他の参加者は店のおばちゃんにんで写真を撮ってるのかなどと聞かれていたから、勝手に指定されてたのかもしれない。

この辺りまで来ると、他の参加者もちろほろ見かけるようになってくる。なんだか呑気に回ってる感じの人たちを横目に、我々はストイックに次の目的地を目指す。日曜日にはピザ窯体験ができるというところがあり、土曜日だったためにそれはできなかった。参加しようものならレースを捨てるようなものだから、こういう企画で訪れて欲しい場所を選んだりするのはなかなか難しいものだなと思った。先のお菓子屋のことを思えば、ここなら問題ないだろうという場所を選ばないといけない。振り返ってみれば、

学校だったり寺社が多かったのはそういうことなんだろうと思える。少し疲れる坂を登ったり降りたりしながらゴールに向かう。ばあばと一緒に写真で50点を獲得して、そろそろ遅い昼食をと言うことで、釜揚げうどんのあやまを選択。時間的に並はずに済んだのも計算ずくだ。このうどん屋はまだ出来てひと月も経っていない。

新しい内装と感じのいい関西のイントネーションをもつご主人。奥さんの地元で店を開きこれから何杯うどんを作って生きていくのだろう。

そんな余計な事を思いながら美味しくうどんを食べていたら、制限時間の残りがあり



と30分になっていった。この競技の怖いところはゴールした時に得点の集計が済んでいないといけないということだ。正確には制限時間内ということだが、ギリギリでゴールして集計ができてなければ失格になってしまう。我々はどうん屋を出てから2箇所だけ回ってゴールをした。得点は830点。順位はと言うと、首位どころか12位だった。ちなみにトップ3は地元組。1位に至っては満点だ。どこを捨てて効率よく回るかという作戦は無駄だった。時として頭脳は

役に立たないことがわかる、収穫のある日となった。

面白かったので、足立区版を勝手に企画してみたいと思う。今回みたく自転車で回るのは難しいからランニングとかだといだらうか。時間がある時に足立区のチェックポイントをいくつも探しておこう。足立区内のわかりにくい場所の情報、お待ちしております。

最後に三人のおじさんの写真でお別れです。



サトウテップの
ことなま

第一回 ユーモア

はじめまして。サトウテップです。

都内にある印刷会社に通勤ながら創作活動をしています。

かねてより気になっていたコーヒートップでちよつとした立ち話（主に自己紹介）をしていた所、このオダマガの発行人の方に「よかつたら1ページ書きませんか」と誘われました。

しかもコーナーにしたいと仰る。殆ど初対面の、このよくわからない（※）無精ヒゲのメガネの男に大胆な提案。どんな原稿が上がつてくるか計り知れないというのに、なんてチャレンジング！このオダマガというフリーペーパー、大いなる情熱を抱いている。そう直感した。

なんであれ嬉しい話なので、喜んで引き受けました。

そうと決まれば善は急げだ。早速書く内容について思案しようじゃないか。

オダマガは毎回なにかテーマとかあるんですかと尋ねると、特にないという。それでいてどうぞお好きに書いて下さいと仰る。なるほど、ほぼ初対面の人物にお題のないコーナーを1ページ任せるとは、きつと僕から「この男ならきつと面白いコラム的なものを毎号コンスタントにあげてくれること請け合い」と思わずにはいられない雰囲気が出ていたのでしょう。であればこの電撃的なオファーも無理からぬ話だ。

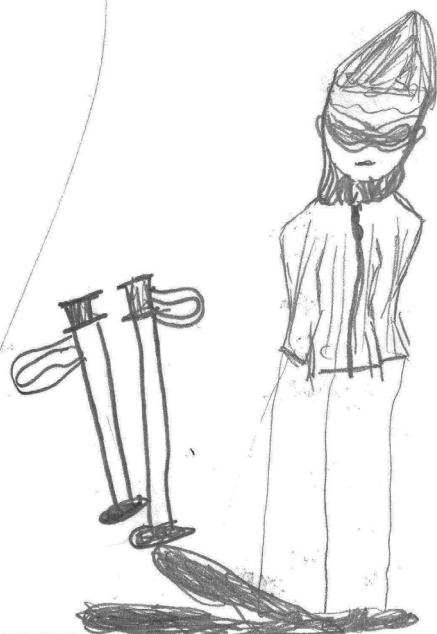
中学生の頃からインターネットに触れ日記などを綴ってきた身としては、こういったものにはそこそこ自信がある。1年くらい更新してないけどブログだってある。初回は重要だ。テーマが何であれ、まずは筆者がどういった人物か知ってもらう必要がある。簡単な自己紹介と寄稿に至る経緯で半分くらいは埋まるはずだ。テーマはユーモアにしよう。世界共通言語といっても良い。このくらい幅の広いテーマであればきつと色々書ける……などと書いているうちにユーモア溢れる原稿が出来た。イエーイ！

※ Twitterでは相互だったようであえてくれたのがめちゃ嬉しかった



絵日記

鈴木レゼはるひ



温度 午後 午前 時間へ(毎日時こくをきめて調べましよう)	おきたじこく 									
	エ 3 月 10 日 曜日 天気 									
おかあさんとおねえちゃんとおたして、スキーをしにいきました。おかあさんのお友だちもいっしょにいきました。やいはいはすべりかたやいろいろなことをおしえてもらいました。わたしは、2時間ほどでスキーをじょうずになつた。										

たのし
み

おいでおいで、おいでをする人、

あんた誰？

ちあきなおみの『夜へ急ぐ人』

小宮 知久

『夜へ急ぐ人』を歌うちあきなおみは恐ろしい。黒いステージに真っ黒なドレス、ボリューミーな黒髪を振り乱して、何かに憑かれたように、ちあきなおみは歌う。まだ見たことのない方は、是非、一度Youtubeなどで見て欲しい。これが本当に公共の電波に流れていたのかとびつくりする。しかし、その歌の主人公になりきって歌うことは、ちあきなおみの常套手段であり、それが彼女の持ち味である。何かに取り憑かれたように歌うのは、この曲の時だけではない。時に、夜明けの店終わりの女、愛する人を亡くしてもなお、ステージで歌いつづける女、ニューオリンズの女郎屋に売り飛ばされた女。歌っている間、完全にその女になっている。愛する人を亡くしてもなお、ステージで歌いつづける女を歌った『喝采』、辛いドサ回り時代を歌った『劇場』などは、たしかに、ちあきなおみ自身のことを歌ったような歌詞で、いわばノンフィクション風である。歌詞に出てくる女と、それを歌うちあきなおみはイコールでつながる。しか

し、『かもめの街』や『朝日のあたる家』などを歌うちあきなおみは事情が異なる。ちあきなおみは、実際にスナックを経営していたわけではないだろうし、娼婦をしていたわけではないはずなのに、ステージの上では、それらの女とびつたりイコールで重なるようにしか見えない。歌は、普段の生活から括弧に括られた、別の世界線として立ち現れる。ちあきなおみは歌ごとに、異なるちあきなおみとして生成されているのだ。きつとそれは、それぞれ、ありえたはずの人生を歩む、同じちあきなおみで、私たちはその複数の世界線を、歌を通して垣間見ているのだ。と、そう思えてくる。そして、歌が、演劇と違うのは、聞く人もまた、歌を聞くことによって、その人生を自らに憑依させることができるところにあって、私たちが、ちあきなおみの歌を聞くことで、もしくは口ずさむことで、その人生を仮想的にインストールすることができる。それは、自分を、自分の実際の人生から遠ざけるために、時間的にも環境的にも大きく異なる、他の人生をシミュレートしたいという欲望なのかもしれない。辛い歌のはずなのに、なぜか癒されている自分があるのだ。複層的な時間線を生きるちあきなおみを、歌という身体性を喚起するトリガーを通して、自らに憑依させる。そんな遊戯を繰り返している。

さて、『夜へ急ぐ人』はどうだろうか。『夜へ急ぐ人』は他の曲に比べて、主人公がこのどんな女か全く想像ができない。どうやら何かをものすごく恐れているらしい人、ということだけは、かろうじて分かる。状況説明的な歌詞や、主人公の女のことに関する言及は全くなく、素性知れずの女である（いや、女でないかもしれない）。それなのに、ちあきなおみはこの曲を歌うとき、前述の歌以上に何かに取り憑かれたように歌う。なので、これもさっきのように、この歌に出てくる人を自らにインストールできるような気がするのだけど、この曲でその遊戯をするのは、違う意味合いが生じているのではないだろうか。

『夜へ急ぐ人』の歌詞の中に、「私の心の深い闇の中から、おいでおいで、おいでをする人あんた誰」という部分がある。そもそも、この人自体が誰か分からないのに、さらに、彼女（彼？）の心の中の「おいでおいで」と呼びかける人が、誰かと尋ねてくるのである。この部分を歌うとき、ちあきなおみはまっすぐ画面の向こう、つまり、映像を見ている私たちに向かって「あんた誰」と呼びかけてくる。「私の心の中」に呼びかけるのであれば、自らの内側に語りかけるような身振りで歌うのが妥当ではないだろうか。それなのにちあきなおみは私たちに向かって「誰？」と尋ねてくるのである。

つまり、この歌の中で「心の深い闇の中」は、画面のこちら側なのだ。それは、映像の中で留まる人格を越えて、私たちまで、素性知れずの謎の女、ちあきなおみに飲み込まれるような体験なのである。一度見たら他人事ではなくなってしまうのだ。この曲が他の曲と比べて、特段恐ろしい（もしくは気持ち悪い）と感じるのは、私たちを引きずり込んでくるからではないだろうか。自分を自分の人生から遠ざけるために、他の人生を仮想的に憑依させる遊びも、この曲ではもはや機能しなくなる。これは、まさしく自分自身のことであり、この歌詞に共感しようがしまいが、私のことになってしまう。選択の余地を棄却されてしまうのだ。他の曲は、人格をあくまで「仮」としてインストールできるのに、この曲の主人公は、ずっと私たちの心に住みつづける。そんなことを思ってしまう。そして、今度は、自分がこの歌を口ずさみ、他者に向かって「おいでおいで、おいでをする人、あんた誰」と尋ねるのである。画面の向こう、そして、自分の外側へ向けた、素性知れずの人間からの「あんたは誰か」という呼びかけは、この曲が歌われるたび増殖して、全ての人間を知らない人、かつ、私に関係してしまう人にしていくようだ。私たちは『夜へ急ぐ人』に出てくる主人公でありながら、心の闇の中からおいでをする人なのである。

おしえて！



おだいじん

ハロー、おだいじんぞよ
お久しブリュッケ！

なかなか質問が来ないからもうこの紙面に顔を見せることはないと思っていたんじゃが、春になったせいかおだいじん宛に質問がきたからさっそくお答えするぞよ

今回の質問は足立区にお住まいのOさんからぞ。
ババンッ！

次男に「お兄ちゃんが空気をよめないのは、お母さんが空気をよめない影響だと思う。」といわれました。ここに何かよむべきものがありますか？

さて、読者諸君は何を思ったじゃるか？

「空気をよむ」というのを、丁度こないだ何かで読んじゃうが、この「空気」というものは凄じい力を持っていて、時に個人の意思とは反対の行動をとらせることも出来てしまうことなんぞ。世間ではこれを「ムード」とも呼ぶそうぞ。じゃがしかし、考えてみると「空気」は共通認識の中に存在しているみたいぞ。日本人が欧米の家の玄関で靴を脱ぐというような話はまさに「空気をよめない」ということじゃうて、質問してきたOさんはこの文脈ではエイリアンということぞ。エイリアンによむべきものはないぞよ！

「空気をよめない」なのか「空気がよめない」なのかが気になってしまった。これは可能性の問題じゃうかね。

足立区外は勿論、全国から疑問・質問はバシバシまっとうるぞよ

おぎぬまXの4コマバトル道場

春



VS



作・おぎぬまX

押忍!!「春」がテーマの4コマを描いたら、このページを写真に撮ってTwitterの『@oginuma_x』にDMを送ろうッス!挑戦者求む!!

Andante

支度

2018.2.20



支度

斉藤友秋

相手になにかを教える場合は、相手の身になって考えねばならない。

僕はギター教室をやっていて、練習曲にオリジナル曲を用いている。初心者生徒のためになるべく易しい楽曲を考え、作曲した練習曲「あの山」(前号オダマガ掲載)は、初めに演奏するには難易度が高かったようで、指摘された箇所は、なるほど言われてみれば難しい。自分の中での簡単な基準にして作曲したからだろう。これを教訓に新たに書いたのが練習曲「支度」である。

楽曲解説

あの山を目指すための支度である。ゆったりとしたテンポで、一音一音を確かめながら、忘れものがないように。主旋律と副旋律を意識して弾き分けてほしい。

ひとくちメモ

この曲を弾いてみて、斉藤友秋さんにギターを習ってみたいと思った人はコンタクトをとってみましょう。

日本には四季があります。

季節ごとに貯め頃を迎える食材があり、それらを「旬のもの」と呼ぶそうです。旬の食べ物は安価で、新鮮で、栄養価も高く、その時期に起こりやすい体調不良をカバーする効能が期待できる成分が多く含まれています。昨今、食材は通年出回り旬がわからにくくなってきましたが、季節ごとの食材「旬のもの」を知り、料理に上手に取り入れながら自然の恵みをしっかりと受け、四季の変化を楽しみましょう！

たけのこ bambooshoot

おおむね春〜初夏が旬

3月〜4月

「孟宗竹（もうそうちく）」

中国江南地方の原産。一般にタケノコと言えばこれを指します。

実は白くて柔らかくえぐみも少な

い。独特の甘みを含んだ上品な味わいと、歯ごたえがあります。

4月中旬〜6月

「淡竹」

竹は孟宗竹より細く、粉をふいた淡い緑でとても美しい。

・・・一般市場にはあまり出回っていません。

「真竹」

細めの筍で皮にうぶ毛がなく、黒い斑点があるのが特徴。

味はしっかりと。アクや苦味も強いです。

5月中旬

「根曲がり竹」

東北、北海道など、北日本が主な産地です。小型で細い竹。筍も太さ1〜2cm程度で、山菜などと同じように売られています。身は白くて独特の風味があり、アクが少なく非常に歯ざわりがいい。

◇美味しいタケノコの選び方

伸びすぎていないもの

皮の色が薄いもの

（伸び過ぎたり、日に当たる時間が

長いものはアクが強くなる）皮の部分がしっとりしていていないもの
根本の周りに赤い斑点が少ないもの（多いものはアクが強い）

◇保存方法

「タケノコは鮮度が命保存の前に茹でること」

掘り出された後、時間を追うごとにアクが強くなっていきます。出来るだけ早く下茹でを。

◇タケノコの茹で方

孟宗竹や淡竹の場合、先端を斜めに切り落とし、皮を剥きやすいように縦に身の手前まで切れ目を入れます。

皮ごと茹でるのは皮にアクを抜く作用があるからだそうです。

米ぬか、鷹の爪を水と共に鍋に入れ、そこに筍を沈め、落し蓋をして火にかけます。米ぬかに含まれるカルシウムが筍のアクに作用して、えぐみをとるそうです。

大きさによって茹で時間は異なりますが、およそ40分〜1時間位茹でます。

えぐみが強いものは長めに茹でる

のですが、長く茹で過ぎるとえぐみと共に風味も抜けてしまうので、使う料理によって加減しましょう。

火を止めて更にアクを抜くため、そのまま冷やします。

温かいうちに水に当てるとうアクが残るだけでなく、筍が縮んだり、割れたりすることがあります。

数時間経ったら筍を取り出し皮を剥き、さっと水洗いして冷水に浸しておきます。

保存する場合はこの状態でタッパーなどに入れ、冷蔵庫で保存します。

調理方法は色々見つめて下さい！

My 旬 MUSIC

Sigur Rós

- Takk (Full Album)

Steve Reich

- Different Trains

- Electric Counterpoint

Lily Chou-Chou

- 呼吸



橋の渡りかた

写真や映像の中のものとお物のものを
見比べてみましょう。
切り取らせた世界と、連続する世界の
違いが見えるかもしれません。

自転車の防犯登録をしましょう。
警察から連絡が来ることもあります。
しなくても無灯火で警察に止められた
時にすぐ解放されるということも。

向き不向きといいますが、わたしたち
は向きを変えることができます。
何かが自分には不向きだと感じたら、
ためしに向きを変えてみましょう。

バナナを持ち歩きましょう。
いざというときの栄養補給には勿論、
不審者に後をつけられてたら投げて滑
らせることもできそうです。

両方の目を閉じ、何も見えない状態で
コップに水を注いでみましょう。
普段は全然気にもとめてなかった音や、
筋肉の動きが見えてきます。

定点観測をするようにしてみましょう。
1年に1度だけだとしても、その眺め
も去ることながら、その間に起こった
自分の変化にもきづくかも。

実現したいことを実現するのに、反対
の関係にあることを試してみましょう。
例えば声を高くして喋ればそれはもう
楽しいということかもしれません。

生活に余裕があれば新しい習慣を身に
着けてみましょう。
そのひとつから見え方が変わることが
生活の中に現れてきます。

流れる水に出会ったら、表面に揺れる
光を追ってみましょう。
透明な水でさえこんなに複雑だなんて
なんだか面白いですね。

何かを覚えるときに書くか書かないか
という選択は、どちらも覚悟がいるの
で悩ましいところです。
見返せるので書くのがおすすめです。

橋のたもとから

二ヶ月ごとの発行を目標似していたはずなのに、時間というものは本当に待ったなしですね。春、みなさんは新生活を迎えていますでしょうか？

個人店の経営となると、卒業をするという予定も一応いまのところなく、そうなるにとりたてて新しいことはないの、自分で新しいことを考えないといけません。

店と関係ないことであれば、また日仏学院の講座をちゃんと継続しているので新しい出会いはあるかもしれません。店のこととなると、少し新しいことがあります。pocoという小規模の上映を可能にするサービスを利用して上映会をすることができますようになります。個人的にはこの変化は大きいです。よかったら「小台シネマ倶楽部」にご参加下さい。それと、長いことお休みしていましたが、遂にあの「橋と音楽」が帰ってくる予定です。色々を目撃して頂けたら嬉しいです。

なんとなくこの頃はクリームソーダを推し気味な気がします。もう少ししたらかき氷もまたやるでしょう。ただ、やっぱりここはコーヒー屋なのでコーヒーを売っていくということを考えています。車を買って移動販売でしょうか。

それはそうと、今年は遂にポートランドに行こうと決心しました。8月です。小台とポートランドは何が違うかみたいなこととかを見てこようと思います。コーヒー屋にも行きます。

せっかくフランス語やっても喋れない英語を話す国に行くわけですから、人生とは不条理なものですね。

「こんな顔」 in 小台

玉坂めぐる

小台橋の上の街灯の「顔」です。



七年前は「こんな顔」でした。



三月の大きな地震で壊れました。時折思い出したいと思います。

小台マガジン 19 号

発行 2018 年 4 月

編集 ブリュッケ

印刷 プリントパック

おかむらあいこ（紙加工プランナー）

🐦 @aiko_okamura

おぎぬま X（マンガ家）

🐦 @oginuma_x

小宮 知久（作曲家）

🐦 @bydgiyerhc

是永 総一郎（折り紙折り）

🐦 @k0res0u

クララ（ベコ飼いたい何でも屋）

栗原 論（店主のパイセン）

斉藤 友秋（作曲家）

🐦 @saitosaitama

サトウテッペイ（週末イラストレーター）

🐦 @bone_tep

澤村 明亨（オケサドコーヒー & パブリッシング）

🐦 @opalsan

清水 玄（コ本や）

🐦 @honkbooks

鈴木 レゼ はるひ（小学生）

玉坂 めぐる（「顔に見えるもの」の収集家）

🏠 konnakao.blog96.fc2.com

DJ 半額（ひみつ）

天宅 正（デザイナー）

🏠 tentaku.jp

杉浦 俊介（店主）

🐦 @hashi_to_coffee



BRÜCKE

odaibrücke.org